



グループホーム 萌

あなたのふるさと 10月 もえ



子供みこしがやって来ました

地域の行事で子供みこしがやってきました。
一・二階の利用者様は元気な子供の姿を見ようと外に出て、子供達のみこしを見学しました。
みこしの前で子供達と一緒に写真を撮った後は、お子さん達と一緒に太鼓を叩いたり、みこしを眺めたり、寒い中ながらも楽しいひとときが過ごせましたね。
毎年、この時期に子供みこしが来るのを楽しみにしていましたが、今年も子供達の賑やかな様子を見て、とても元気を頂きました。
(二一日)



園児に声援を送る

粒江幼稚園の運動会に招待されましたので、一・二階の利用者様、そして花の里の利用者様と一緒にに行ってきました。
幼稚園の子供達の元気な姿を見て、「頑張れー!」「かわいいなあ」と皆様、大きな声で声援を送られたり、拍手をされたりと大変喜ばれていました。
青空の広がるとてもいい天気の下で、子供達からいっぱい元気をもらいました。



第11回萌まつりの詳細は4ページからです

一・二階合同ドライブ 国分寺&珈琲館へ



本日は一・二階合同で利用者様と職員とで総社の国分寺へドライブに行きました。緑の中から青い空に向けて建っている五重塔を背景にして写真を撮るときには、皆様ステキな笑顔をされていました。



その後、全員で珈琲館に立ち寄り、パンケーキセットを頂きました。「甘くて、とっても美味しいわ」「チョコレートがええーな」「このコーヒーククなくて、お替わりしていい？」と口々に話をされていました。「ごちそうさまでした。」



壁画作り (三階)



利用者の皆様、出来上がった壁画の中のご自分のサンタを見て、どう感じてらっしゃいますか？



今年もあと少しとなり、近づく「楽しいクリスマス」。一枚一枚切り取り、色を塗り丁寧に貼り付けていきました。「これは何が出来るんなー」と不思議そうにされていましたが、出来るものと、「何だ、クリスマスか」と笑顔が。ご自身がサンタクロースになっているのを見て、大笑いをされる利用者様でした。



ハロウィン



よるこびの庭の子供達が仮装をして、利用者の方々に出会いに来てくれました。

「おばあちゃん、おじいちゃん、お菓子をちょうだい」と子供達が言うのと満面の笑みで、「まあー来てくれたの、ありがとう。何個でもあげるよ」と子供達にお菓子を渡されていました。子供はお年寄りの癒やしですね。
(二六日)



ずんどこ節踊り



音楽に合わせて氷川きよしさんの「ずんどこ節」踊りを初めて踊りました。やさしい振り付けなので、皆様も喜んで手を動かせておられました。また踊りました。(二階)



カレー作り



萌まつりの日の昼食はカレー作りを手伝って頂き、皆様、お腹いっぱい召し上がられました。

「ご飯の量が多いなあ。お腹いっぱいじゃあ」と喜ばれていました。
(二階 二四日)

多目的ホールで歌う



ピアノ伴奏に合わせて、皆様とも上手に大きな声で歌って下さり、楽しいひとときを過ごしました。また一緒に歌いましょう。(二階)

散歩

岡田様&山本様が一〇月のとある日に天気がいいということ、萌の近くに散歩へ出掛けられました。

「え〜天気じゃなく」

「向こうは車が多いな」と周りの景色を楽しまねながら気持ち良く散歩を楽しまれました。一月もまた散歩に出掛けましょうね。(二階)



第 1 1 回 萌 ま つ り



今年も、この季節がきました。昨年夏に開催した夏まつりでしたが、「第11回萌まつり」は秋まつりとなり、この日は青空の下とっても暖かい中、たくさんの方々のご参加を頂き、スタッフ一同とても感謝しております。

例年感じることでありますが、ご家族様と一緒に祭りを楽しめている利用者の方々の笑顔は、普段見るよりもとてもいいお顔に感じました。

催し物として総勢三三名の踊り、備中神楽、和太鼓とマリンバの組み合わせのGONNAのショーがありました。

ゲストに民謡演歌歌手の涌井晴美さんを東京からお招きして歌って頂き、とても盛り上がりました。

会場に響く歌声、太鼓の音など、利用者様は「大きな音だけど、元気になった」「一緒に歌ったよ」とか、出店の「焼きそばとかが美味かった」と笑顔や笑い声、談笑の音がたくさん見られました。

また、近隣の方々の参加もたくさん頂き、萌まつりを盛り上げて下さいましたことを感謝申し上げます。

これからもスタッフ一同頑張っていけますので、よろしくお願ひします。(二四日)



利用者様、ご家族の活き活きとした表情
笑顔に溢れています。



ダンスチーム「レヴェランス」



小さな子供達もレヴェランスのメンバーです



トランペットを吹いているのは職員の方角井君です。



お客様から飛び入りダンサーの登場です



スピーディーでキビキビとした動きに、若さ溢れるものを感じました

ダンスチーム「レヴェランス」総勢33名のグループです。メンバーは5歳から中学3年生までと幅広く、今回もステージ狭しとスピーディーで力溢れるダンスを披露してくれました。

導引の舞

猿田彦のみちびき～猿田彦の登場 天孫君臨の際、その導きをした猿田彦の神の由来を説明する舞い。紹介が終わると、幕内よりさっそうと猿田彦の登場です！

猿田彦の命

猿田彦命(さるだひこのみこと)の舞 神楽でも花形の一つ、有名な猿田彦の舞です。太鼓に合わせて千道(ちみち)と呼ばれる紙飾りを切り払い舞っていきます。七座の神事の締めくくりをする舞いです。猿田彦命は、天照大神(あまてらすおおみかみ)の孫神の「瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)」が、葦原中津国に天下る途中、先導した神である。



事代主命

事代主(ことしろぬし)の呼び出し 稲脊脛の命は横で太鼓を叩いている太夫さんに「なんと音楽さん・・・」と話しかけます。この二人のやりとりもまた楽しく続きます。そして登場した大御所は大国主命の長男「事代主命：俗称(えびす)」さんです。



大国主命



「だいこくさま」とも呼ばれる大国主命の舞いには子供達も大喜びする「餅投げ」があります。万福袋(まんぷくぶくろ)に入った福餅には清めの意味もありますが、そんなことはどうでもよし！拾うと縁起がいいと言われる福餅を争って取り合う姿は、もはや大人も子供もありません。



大黒様は、子供達に福を授けています



送り致します。「導引」「猿田彦の命」「事代主の命」「大国主の命」「大蛇退治」の場面の舞をお送り致します。

本日お送りしますのは、重要無形民俗文化財・岡山県無形文化財の指定を受けております。

倉敷社中は昭和六〇年一月結成以来、倉敷市の姉妹都市(オーストリア・サンクトペルテン)(アメリカ・カンザスシティ)(ニュージーランド・クライストチャーチ)(中国鎮江市や台湾の台中市)の各国を国際交流として公演して来ております。

日本誕生の古事記・日本書紀・出雲神話の中から「天の岩戸開き」「大国主の国ゆずり」「素戔嗚の尊大蛇退治」の三編の神話を演劇風の神楽に仕組んだものが、現在の備中神楽です。

備中地方の方々々が代々受け継ぎ伝えてきた備中神楽は、今もなお「信仰の精神」を失わず、しかもその時代時代の人々の魅力をつなぎ止めて「高い芸能性」を育てて来たところに特色があります。

備中神楽ご紹介

大蛇退治

子供達が一番楽しみにしている舞はこの大蛇退治ではないでしょうか。

素戔鳴尊（すさのおのみこと）が高天の原を追われて出雲の国に降り、八保の大蛇を退治して奇稲田姫（くしいなだびめ）を救うというおなじみの神話を神楽化したもの。

まず、素戔鳴命が遣いの舞で登場する。そこへ、翁と娼が嘆きの舞を舞いながら現れる。享情をきいた素戔鳴の命は、奇稲田姫を我にくれるなら大蛇を退治すると約束。

いよいよ大蛇退治のクライマックスである。まず、素戔鳴の命が戦支度を整えて現れ、緊張感を高めるかのように力をこめて舞う。複雑に絡み合う大蛇は神楽最大の激しさを見せ、ついに力つき、首を切り取られるのでした。討ち取った大蛇の尾先より一刀の剣が出てきます。これが「**天のむら雲の剣**」です。



「**雨のむらくもの剣**」とは、天叢雲劍（あめのむらくものつるぎ）、あまのむらくものつるぎ）は、三種の神器の一つ。草薙劍（くさなぎのつるぎ）、草那芸之大刀（くさなぎのたち）の異名である。熱田神宮の神体となっている。三種の神器の中では天皇の持つ武力の象徴であるとされる。

『日本書紀』では「草薙劍」、『古事記』では「草那芸之大刀」「草那芸劍」と表記される。「天叢雲劍」の名称は、日本書紀の注記で、異伝（一書・一云）として二か所の方に記される。熱田神宮では、草薙神劍（くさなぎのみつるぎ）としている。

神代 スサノオ（素戔鳴尊）が、出雲国において十拳劍でヤマタノオロチ（八岐大蛇）を切り刻んだ。このとき、尾を切ると劍の刃が欠け、尾の中から大刀が出てきた。その尾から出てきた劍が草薙劍である。日本書紀の注には「ある書がいうに、元の名は天叢雲劍。大蛇の居る上に常に雲気が掛かっていたため、かく名づけたか」とある。スサノオは「これは不思議な劍だ。どうして自分の物にできようか」（紀）と言って、高天原の天照大神（アマテラス）に献上した。劍は天孫降臨の際に、天照大神から三種の神器としてニニギ（瓊瓊杵尊）に手渡され、再び葦原中国へと降りた。

皇居 草薙劍の形代は、崇神天皇の時に神器と同居するのは畏多いという理由で作られ、現在は皇居の「**劍璽の間**」に勾玉とともに安置されている。



とっても笑顔のステキな方でしたね



民謡で鍛えた声はすばらしかったですね



利用者の方々に握手をして廻って下さいました



備中神楽に続いては、
涌井晴美さんの華やかな歌謡ショー
 です。
 お父様の影響を受け、幼少の頃より民謡を始められ、以来数々の大会に於いて優勝の実績を収め、現在民謡・演歌歌手として活動中です。
 舞台をはじめ、テレビ・ラジオ等に出演されたり、国内は基より海外においても公演活動を行っておられます。
 このような経歴をお持ちの方なので、歌の第一声が聞こえた瞬間、会場からその声の伸び、響きに「すごい音量やなあ」と驚きの声が上がっていました。
 歌声が凄く綺麗にのびて会場いっぱいに響きわたり、一曲ステージで歌ったあとは、ステージからおおりて皆さんの近くで歌ってください、利用者の方々お一人一人に握手をして下さいました。
 また民謡も披露して下さい、皆さん、一緒に歌ったりとても楽しそうにされていました。





写真から音が聞こえてきそうな気がします



迫力ある音が伝わってきそうですね

ガナの皆さんの熱い演奏に、観客も引き込まれています

萌まつりの締めくくりはもちろんガナの皆さんの演奏です。萌まつりでは、もうすっかりお馴染みになった「和太鼓とマリンバ」のアンサンブル演奏のガナです。名古屋を拠点に活動していて、海外公演も行っています。今回も先週末からは鳥取県をツアー中で、その合間に来てくださいました。またすぐ鳥取に戻れるとのこと、忙しいなか、本当にありがとうございました。ガナのステージは迫力ある太鼓の響きとスピーディーな動きに合わせた演奏だけではなく、お客様との掛け合いやパフォーマンスもあり、笑いあり感動ありで盛り上がります！萌のスタッフも地元の方々の中にも、毎回このおまつりでのガナの演奏を楽しみにされている方もおられます。